

米駆逐艦 クッシングの舞鶴港・入港敦賀原発2号機事故で申し入れ

9日、核トマホークミサイル搭載可能な米海軍駆逐艦『クッシング』の舞鶴東港への入港計画が発表された。また、12日には、京都府に隣接県である福井県の敦賀原発第2号機で放射能汚染された大量の冷却水漏れ事故が発生した。

日本共産党京都府議員団は、13日午後、この2つの事件に関連し、京都府知事に対し申し入れを行いました。申し入れは、岩田隆夫副団長、新井進幹事長が行い、日本共産党京都府委員会林信一郎常任委員も参加、知事公室長が対応しました。

京都府知事 荒巻 禎一 様

1999年7月13日

日本共産党京都府委員会
日本共産党京都府議員団

申 入 書

海上自衛隊舞鶴地方総監部は、米駆逐艦「クッシング」が、8月2日から6日まで舞鶴港に寄港すると発表した。米艦の舞鶴港入港は、有事にあたって自治体や民間の協力を義務づけた周辺事態措置法が成立したもとで最初の寄港であり、第7艦隊の「ブルーリッジ」

入港以来9年ぶりである。

今回の寄港目的は「乗員の休養及び補給」としているが、同艦はもともと横須賀を母港としており、「休養、補給」は口実にすぎず、今回の入港は周辺事態法発動の地ならしとなるものである。

報道によると、日本周辺の有事にそなえ、福井県敦賀港を米空母艦隊の泊地とする計画が浮上している。このような一連の行動は、日本有事にそなえて舞鶴、敦賀を米艦船の出撃基地にし、府民の安全と日本海の平和を脅かす極めて危険な動向である。また「クッシング」は核兵器装着のトマホーク搭載可能艦であり、非核舞鶴港を願う府民の世論にも反するものである。

港湾管理者の知事は、内航専用の舞鶴東港への入港を許可するとしているが、これは周辺事態法による米軍への協力を先取りするものであり、断じて許すことはできない。知事は府民の安全と平和な舞鶴を守るため、米駆逐艦「クッシング」が寄港しないよう、関係機関に強くはたらきかけけるとともに、知事の権限を行使して寄港させないよう強く申し入れるものである。